

萬世大路

東北中央自動車道
(福島～米沢北) 通信
第63号 平成28年10月 発行



工事紹介 ぱーと48

◇米沢大橋床版工工事

受注者:(株)後藤組

工期:H28年4月～H29年2月

JR奥羽本線、最上川、サイクリングロードなどを横断する橋架の床版、高欄を造る工事を行っています。

米沢大橋(仮称)の床版を造っています!

上新田～中田町地内に米沢大橋(仮称)の工事を行っています。完成すると、JR奥羽本線、羽黒川、最上川、サイクリングロードなどをまたぐ、米沢で一番長い橋になります。

橋桁の架設工事は昨年度に終了し、現在はコンクリート床版高欄の施工を行っています。



↑橋桁は昨年度に完成

(詳細は萬世大路第50号をご覧ください。)



◎ 床版(しょうばん)とは・・・



橋の上を通る車両の重みを橋桁(はしげた)に伝えるための床板(ゆかいた)のことです。床版の上に舗装が施工されます。

工事の施工状況

①着工前



昨年度に橋桁の架設が完了

②型枠の組立て



橋桁の上に木製の型枠を設置します

③鉄筋の組立て



φ13mm～φ22mmの鉄筋を組み立てていきます。

⑥床版完了



床版が完了し、高欄、中央分離帯の施工を行い、皆さんが通行する橋となります。

⑤コンクリートの養生(H28.10月現在)



寒いときは一定の温度(5℃以上)を保つように養生シートで養生します。

④コンクリートの打設



コンクリートを入念に敷き詰めていきます。

コンクリートの供給

コンクリートの供給は、地上で生コン車からコンクリートポンプ車に供給し、橋梁の現場まで圧送しています。
このコンクリートポンプ車は高さ30mまで供給可能です。



現場のエキスパート



監理技術者 金子 誠司さん
現場代理人 内藤 吉之さん

～米沢大橋床版工工事～ (株)後藤組

当現場は墜落・転落災害防止を安全重点目標として、日々工事を行っています。

毎日現場で作業員さん達とのコミュニケーションのなかで、その日の作業の安全確保について再確認したり、安全設備等を充実させる事により事故を防止する事にも務めております。

これから冬が近づき、夕方暗くなるのも早くなり事故が起きる可能性も高くなりますが、日々の安全巡回・現場での声掛けを充実させ安全作業を進めてまいります。

南部小三年生が工事現場を見学しました!

10月21日に米沢市立南部小学校の3学年103名のみなさんが栗子トンネルの現場を見学しました。トンネルの中に入ると嬉しそうな様子が印象的なみなさん!学校では学べない貴重な体験だったのではないのでしょうか。



↑トンネル内の避難通路見学にて工事説明を受ける



ご意見・お問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
TEL: 0238-37-5570 FAX: 0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

